

「環境は人をつくり 人が環境をつくる」
本校の環境（緑化）教育の取組 No.2

熊本県立ひのくに高等支援学校

『愛校タイム』

ひのくには
「手づくり」でつくる

中庭での活動の様子 →



1 はじめに

本校の校舎は、約4万平方メートルの広大な敷地に「ユニバーサルデザイン」に配慮し県産木材を使用した、優しさと潤いのある木造平屋造りです。生徒の豊かな感性を高め安全性や環境問題にも優れ、「香り」や「温もり」、「柔らかさ」を有し、精神を安定させ生徒の生理的な情緒安定に寄与している校舎は、生徒、保護者をはじめ地域からも注目を浴びる建造物として認められてきました。そこで、開校当初から本校の環境教育の根幹として、本校校舎の維持、管理も「環境緑化」として取組んできました。ここでは、取組の基礎となる「愛校タイム」を紹介します。

2 テーマと目的

教育くまもとNo.84 をご覧ください。

「環境は人をつくり 人が環境をつくる」本校の環境（緑化）教育の取組

3 取組内容

生徒愛校タイム

本校の環境美化活動は『ひのくには「手づくり」でつくる。生徒・職員一体となって一斉に取り組みましょう。』というスローガンのもと、開校年度から取り組みが始められ今日まで続いています。

生徒の生活委員会の活動として企画、立案され、毎月1回1時間程度、各学年毎に全校生徒が活動しています。各学年団の生活委員が取組の目的の確認、活動場所、注意点等を生徒に伝え活動は始まります。活動内容は、校舎内外の清掃活動が主な内容です。校舎外は、主に除草作業と落ち葉拾い、芝生管理などを行っています。校舎内は、日頃の掃除時間や大掃除でも行き届かないところを重点的に取り組んでいます。



生徒による活動内容の説明



除草活動の様子

職員愛校タイム

「愛校タイム」には、生徒（学年単位）が取り組むものと別に、職員が活動する「職員愛校タイム」があります。生徒と同様に毎月1回、1時間程度の清掃活動を行っています。春から初秋にかけてはおもに芝生の管理があります。芝刈り機、草刈り機を使用して、整然と刈り込まれた芝生を管理するとともに、サッチ（刈草の堆積したもの）を取り除くために芝生の全面を松葉かきでかき集め青々とした芝生環境を作り上げています。



中庭の芝刈りとサッチの除去



裏庭の芝刈りの様子

愛舎タイム

寄宿舍生の環境緑化活動として実施しています。大掃除を含めて年間6回実施しています。寄宿舍生にとって寄宿舍は高校生活の大半を過ごす家のような存在であり、その身近な生活環境の緑化とその保全のための美化活動に取り組むことで、寄宿舍内の美化意識向上を図るとともに卒業後の生活環境を整えることも見越して取り組まれています。また、次の世代にきれいな住環境を引き継ぐという意味合いも「愛校タイム」と同様です。

PTA合同作業

平成25～27年度の3年間は、PTA活動の一環として環境美化に取り組みました。帰属意識の高揚と愛校心を育み、お互いの親睦を深める機会とすることを目的として、保護者、生徒、職員が一堂に会して清掃活動を実施しました。夏休みの終わりにきれいな教育環境の下で学習ができるようにと暑い最中に取り組みました。



活動の目的と実施場所の確認

4 おわりに

「本校の校舎」は、樹木などの緑との調和により「自然環境」を醸し出す要因としての大きな役割を果たしており、植栽（樹木と芝生など）との融合をもって緑化環境を形成しています。その環境は、教育はもとより生活環境としても生徒、保護者、地域からも高い評価を得ています。適正な管理のもとに環境は維持され、その管理を行うこと、その環境に身をおくことからの学びは大きいものがあります。ひのくにの環境の維持は「今の美しい環境があたり前とし、意識してみんなできれいにしていく。」ことを今後も守り続けていきます。



校舎と中庭の植栽